

魚類防疫に関する技術指導と研究

(魚病対策指導事業)

勢村 均

1. 研究目的

魚類養殖増養殖を振興していくため、種苗生産・中間育成・養殖時に発生する魚病を予防し、被害を最小限に抑えるため、水産生物の疾病診断、防疫指導を通して、飼育担当者の防疫技術の向上を図る。

2. 研究方法

飼育担当者から持ち込み、または巡回指導時に入手した標本を検査に使用した。

3. 研究結果

本年度の疾病検査結果は下表の通りであった。

年	月日	場所	魚種	疾病名
平成 10 年	4 月 7 日	加賀	マダイ	栄養障害
	5 月 29・30 日	恵曇	ヒラメ	イクチオボド (マリンサワーSP30、100～500ppm、30 分浴で効果あり)
	6 月 12 日	益田	ヒラメ	イクチオボド
	6 月 16 日	隠岐	ヒラメ	寄生虫
	7 月 9 日	江津	ヒラメ (天然)	寄生虫検査
	8 月 24 日	大芦	マダイ	ハダムシ
	9 月 8 日	江津	トビウオ	不明
	9 月 14 日	江津	ヒラメ (天然)	寄生虫検査
	10 月 22 日	浜田	ヒラメ	連鎖球菌症、エドワジェラ症
	12 月 22 日	江津	ヒラメ (天然)	寄生虫検査
平成 11 年	1 月 12 日	恵曇	ヒラメ	不明 (体表に糜爛や出血があるが、寄生虫、細菌とも検出せず)
	1 月 25 日	大芦	ブリ	不明 (腎臓にそら豆大かそれ以上の白色結節多量)